

- ・調査対象 全国の中小企業経営者、経営幹部（個人事業主等を除く）
- ・調査方法 インターネット調査
- ・有効回答数 1,000社
- ・調査時期 2022年3月11日～18日

## 世の中を読むデータ

# DX推進に「取り組んでいる」「取組みを検討している」中小企業は**24.8%**

DX（デジタルトランスフォーメーション）がビジネスのうえで語られるようになって久しい。DXは業務のIT化やデジタル化にとどまらない新しい取組みといえるが、実際にどの程度DXを理解し、推進しているのか。

今回は、中小企業におけるDX推進の実態についてみてみたい。

### DXを理解している中小企業 ..... **37.0%**

中小企業におけるDXの理解度はどの程度なのか。

調査結果によれば、DXを理解していると回答した企業は全体で37.0%（「理解している」「ある程度理解している」の合計）となっている。

従業員規模別にみると、従業員数が多い企業ほど理解度が高くなる傾向がみられ、20人以下では23.8%、21～100人が47.0%、101人以上は68.5%となっている。

### ホームページの作成 ..... ..... **47.2%**

DXの取組状況については、「既に取り組んでいる」が7.9%、「取組みを検討している」企業は16.9%であった。これらの企業にDXの具体的な取組み・検討内容について尋ねたところ、もっとも多かったのが、「ホームページの作成」

で47.2%、以下、「営業活動・会議のオンライン化」（39.5%）、「顧客データの一元管理」（38.3%）などが続いている。

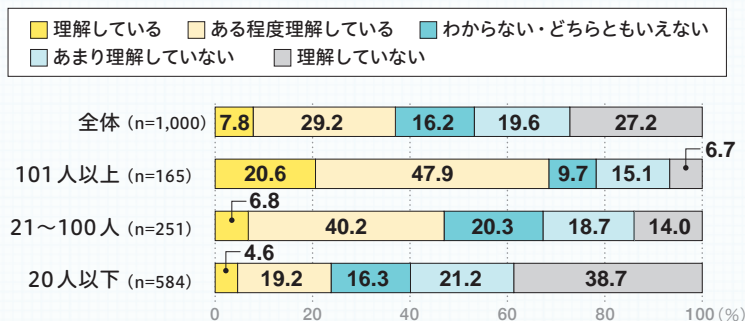
経済産業省の定義によれば、DXとは、「データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、

企業文化・風土を変革し、競争上の優位を確立すること」とある。

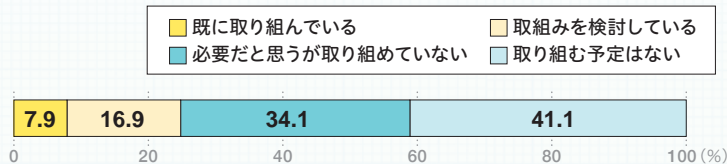
一見すると、「ホームページの作成」などは、DXの定義からはほど遠いような印象を受けるが、中小企業にとっては、DX推進に向けた最初の一步と言えるのかもしれない。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）

### DXに対する理解度 (n=1,000)



### DXの取組状況 (n=1,000)



### DXの具体的な取組内容 【複数回答（上位5位）】 (n=248)

